

洞爺湖温泉小学校

泥流による被害を受けた校舎内のようなす

6月10日・11日の2日間、洞爺湖温泉町の除灰作業が行われました。小学校が避難所となったため、避難所要員として校長以下3名が校舎内に入ることができました。



校門前のようなすです。泥流が30 cm以上積もっていました。
これはブルドーザーで除灰したあとの写真です。
金比羅山の2つの火口から白い噴煙が上っているのが見えます。
細かい灰が常時降っていて目に当たります。



玄関前は膝まで埋まる泥流となっている。
完全に乾いていないため、一度埋まると長靴がとれなくなる。

体育館の湖側の壁が1枚破けている。体育館の山側が突き抜けて見える。



玄関 外側のドアが泥流で破られている。
水槽の金魚は生きていた。
鉢植えの花は泥流の水分のため枯れないで花を咲かせているものもあった。



玄関ロビーまで
泥流が流れてきて
いる。
手前右側が職員室。
廊下奥の突き当た
りが1年教室。泥
流が50cm以上あ
って行くことがで
きない。



プレイングルーム
側から撮った写真

天井近くのガラス
が噴石で割れ、飛
び散った破片が散
乱していた。



1 階廊下 3 年生教室前から体育館入り口に向かって撮影する。

手前 3 年生教室前廊下では泥流が 1 c m くらい
1 年生教室は 5 0 c m くらいになっている。
長靴を履いていても、泥流の粘度が高く足が動けなくなる。



3年生教室の中の様子

泥流の水分が少し流れている程度
噴石のため窓が割れているところがある。



3年生教室のとなりの図工室

外側から流れてきた泥流のため、窓のガラスが破れている。



泥流に埋まる体育館

みずうみ読書の家のある方の壁は全部破られて泥流が入り込んでいる。
反対側の壁は一枚破られて泥流が突き抜けている。
ステージは80 cmの高さがあったが、泥流で見えなくなっている。
入学式に使うためステージ横に置いていたグランドピアノが跡形もなくなっていた。
卒業式の飾り付けはそのままになっていた。
内部に入ろうとしても、泥流が柔らかくて一度埋まると身動きがとれない。

体育館の入り口から泥流が1年生教室に向かう廊下流れ出ている。